

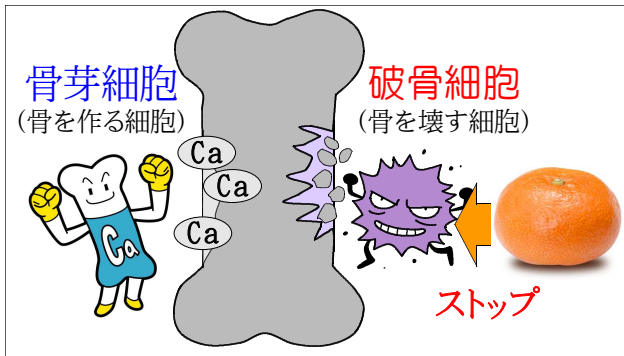


- 内容量：15g(30日分)
- 形状：粉末
- 価格：3,800円(税込4,104円)
- お召し上がり方：1日500mgを目安に。
- 【栄養成分表示：500mg当たり】(推定値)

温州みかんエキス・・・500mg

温州みかんの「骨粗鬆症」対策

「破骨細胞」の分化抑制作用



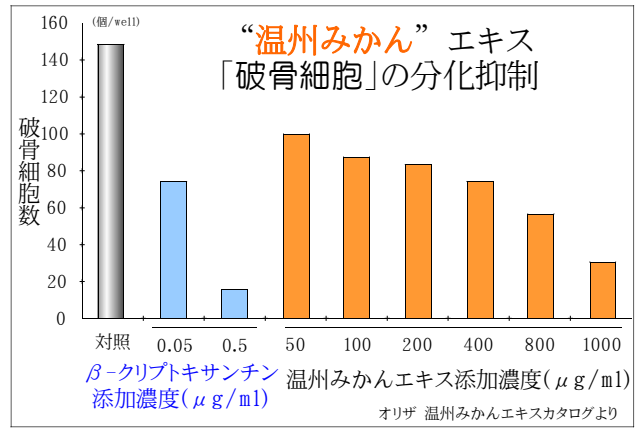
骨には、骨をつくる「骨芽細胞」と、骨を壊す「破骨細胞」があり、2つの細胞が常に活動しながら、毎日少しずつ骨を作り変えています。「破骨細胞」が骨基質を溶解し(骨吸収)、その後、「骨芽細胞」が骨基質を合成することによって、骨の形成や成長(モデリング)、代謝(リモデリング)が起こると考えられています。

「破骨細胞」に核内エストロゲン受容体αが存在し、直接「エストロゲン」が「骨粗鬆症」の発生を抑制しています。

ところが、女性は閉経後、破骨細胞の活性を抑制する女性ホルモン「エストロゲン」の分泌が減少することで、「骨芽細胞」(骨形成に関わる細胞)と「破骨細胞」(骨を壊す働きに関わる細胞)のバランスが崩れ、破骨細胞の活動が活発になります。この「破骨細胞」の暴走が「骨粗鬆症」の原因の一つです。



従って「破骨細胞」の分化を抑制すれば、「破骨細胞」の数が減少し、骨吸収が抑制されると考えられます。そこで、「温州みかん」エキスについて骨粗鬆症発症原因の一つである「破骨細胞」の分化への影響を検討しました。



上図のように、「温州みかん」エキスは濃度依存的に「破骨細胞」の分化を抑制することがわかりました。また、「β-クリプトキサンチン」については、0.05 および 0.5 μg/ml の濃度下で、「破骨細胞」分化抑制活性を示しました。この結果から、「温州みかん」エキスは「破骨細胞」の分化抑制活性があり、その作用には「β-クリプトキサンチン」が関与していると考えられます。

お肌の美白・美容作用

「チロシナーゼ」の阻害作用

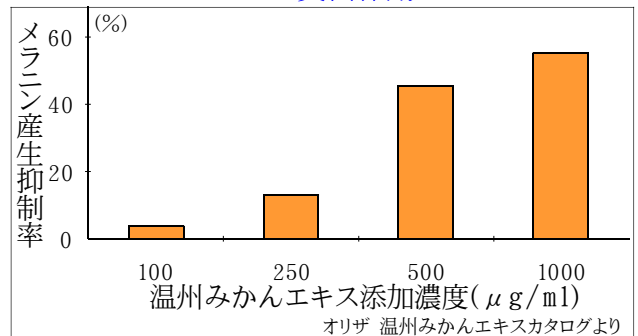
肌のくすみや色黒、シミは「メラニン」が原因です。生体内では、「チロシナーゼ」の働きでチロシンからドーパキノンを生じ、メラニンを生じます。

「温州みかん」エキスが、この「チロシナーゼ」の働きを阻害する事が、明らかとなりました。「温州みかん」エキスの「チロシナーゼ」抑制作用により、肌への「美白作用」が期待できます。



「メラニン産生」の抑制作用

「温州みかん」エキスは、「メラニン」の生成を抑制することが明らかとなり、メラニン生成抑制作用により肌への「美白作用」を促進します。



こんな方に、お勧めします

- * 更年期後の「骨粗鬆症」対策に
- * 美肌(シミ)対策に